

1 単 元 お店のヒ・ミ・ツ

2 単元目標

- (1) 地域の人々の販売の様子に関心をもち、意欲的に調べようとするとともに、これらの仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。(社会事象への関心・意欲・態度)
- (2) 地域の人々の販売の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、これらの仕事の工夫を自分たちの生活と関連づけて考え適切に表現することができる。(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 観点に基づいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕様の様子について必要な情報を集めて読み取り、わかったことをグラフや白地図にまとめることができる。(観察・資料活用 of 技能)
- (4) 地域には販売に関する仕事があり、自分たちの生活を支えていることや、それらの仕事に見られる特色や他地域などとの関わりを理解している。(社会事象についての知識・理解)

3 単元の構想

(1) 単元構想にあたって

本学級の児童は、社会科の学習に意欲的に取り組むことができる子が多い。豊橋駅付近のまちの様子 of 調査では「知らなかったことを知ることができてうれしかった。」という感想が多く見られた。しかし、学習と生活とのつながりをあまり感じていない印象を受ける。学習内容が生活につながっているという実感をもつことができれば、さらに学習意欲が高まることが期待できると考えた。

本単元では地域のお店を題材に扱う。子どもたちが普段から使っている地域のお店を題材に取り上げることで、学習内容と生活とのつながりを感じることができ、本学級 of 子どもたちにはふさわしい単元だろう。

本単元を進めるにあたっては、ヒ（ひとりひとりが見つけ、考え）ミ（みんなが伝えあつて）、ツ（作り上げる機辺のお店マップ）を合い言葉にし、「自分たちが調べて作るのだ」という意欲を高めていきたい。また、一人調べや全体での発表を充実させるためにグループで目標や課題を確認しあいながら活動を進める。グループでの活動を増やすことで、一人一人 of 会話量を増やし、理解を深めいきたい。

(2) 単元構想図（14 時間完了；本時 8 / 14）

☆留意点

お家 of 人はどうしてあのお店で買い物をするのかな？③(準備①・調べる①・発表する①)

☆校区マップ
使うことで、
学校や家
との位置
関係が理
解でき
るよう
にする。

少し遠いショッピング
モールに行くよ。

スーパーマーケット
に行くよ。

近くのコンビニに
行くよ。

☆お店ごとの
使用頻度
を表でま
とめ、
比較す
ること
で、学
習課
題へ迫
って
いく。

お店の近くに
ホームセン
ターがあ
るよ。

コンビニよ
りも値段が
安いよ。

た
く
さ
ん
の
食
材
が
売
っ
て
い
る
よ。

近
い
か
ら
買
い
物
に
時
間
が
か
か
ら
な
い
よ。

スーパーマーケットにはどんなヒミツがあるんだろう？⑨（本時 5 / 9）
（問題づくり①・調べる②・まとめる①・発表する①・話し合う①・調べる①・まとめる②）

お店 of ヒミツをたくさん見つけたいな。

店員さんにこんなこと聞いてみたいな。

☆見学メモ
を作
る
こ
と
で、
視
点
を
も
っ
て
見
学
が
で
き
る
よ
う
に
す
る。

お店にはた
く
さ
ん
の
ヒ
ミ
ツ
が
あ
っ
た
よ。

どうして
こ
ん
な
ヒ
ミ
ツ
が
あ
る
の
か
な。

どうして
リ
サ
イ
ク
ル
ボ
ッ
ク
ス
が
あ
る
の
か
な。

☆マナーを
意識して
見学で
きるよ
うに
指
導
す
る。

スーパーはお客さんや地域のためにいろいろな工夫をしているんだね。

いろいろなお店 of ヒミツを見つ
けよう。②(話し合う①・まとめる①)

完成したお店マップをみると、色んなお店 of 場所とそれぞれの良さがひとめでわかるね。

買い物するときに、それぞれ of お店 of 良さを上手に使い分けていきたいな。

4 本時の学習

- (1) 目 標 売り場やバックヤード、働く人の多くのヒミツが売る人と買う人の思いにつながっていることを理解することができる。

(2) 準備 教師；絵カード（店内、バックヤード、店員）
児童；見学メモ、発表カード

(3) 学習過程 ☆留意点 ※支援 評価

※前時に発表
する内容を
発表カード
に書いて準
備すること
で、スムー
ズに発表の
活動が進む
ようにする。

※発表の苦手
なAには、
発表メモを
見ながら発
表するように
声をかける。

☆ヒミツがあ
る理由は、
ヒミツとは
違う色で板
書すること
で、理由が
見やすくな
るようにす
る。

お店にあっ
たたくさんの
ヒミツが、お
客さんのため
に行われてい
ることを理解
することがで
きたか。
(発言・ワー
クシート)

スーパーの見学で発見したヒミツを発表し合おう。

売り場について発見

- ・コーナーに分けて、商品を売っていたよ。
- ・どこにどの品物があるか、看板があってわかりやすいよ。
- ・食材の料理例や、旬の食材を紹介していたよ。
- ・様々な大きさに切られた肉や野菜があったよ。
- ・どこの産地の商品なのか必ず書いてあったよ。
- ・小さな子どもが乗れるカートもあったよ。
- ・障害のある人専用の駐車場が入り口の近くにあったよ。
- ・リサイクルボックスコーナーもあったよ。

働く人についての発見

- ・白い帽子をかぶった人もいたよ。
- ・丁寧な言葉遣いをしていたよ。
- ・レジの人は、買われた物をきれいにかごに入れていたよ。

バックヤードについての発見

- ・バックヤードへの扉がマジックミラーだったよ。
- ・商品の入った段ボールが保存されていたよ。
- ・肉をさばく場所や惣菜を作る場所が分かれていたよ。

※見学の写
真をテレ
ビに映し
出すこと
で、気づ
いたお店
のヒミツ
を思い出
せるよう
にする。

お店には
たくさんの
工夫がある
ことを理解
することが
できる。
(ワークシ
ート)

どうしてお店にはこのようなヒミツがあるのだろう。

買う人が、安心して
買い物ができるよう
にするためだよ。

誰でも気持ちよく
買い物ができるよ
うにするためだよ。

買う人がうれしい
気持ちで買い物か
るためだよ。

お店にあったたくさんのヒミツは、お客さんのためにあるんだね。

今日の授業の感想を書こう。

お店にたくさんの
ヒミツがあること
が確認できたよ。

買う人のために、お店は
いろいろとがんばっ
ていることがわか
ったよ。

友だちの発表を
聞いて、気づいた
工夫もあったよ。

☆意見がなか
なか出ない
ときは、買
う人の気持
ちを想像さ
せたり、家
族がどんな
ことを考え
てお店選び
をしている
か思い出さ
せたりす
る。

(3) 評価基準

評価基準	評価基準		Bに満たない者への支援
お店の工夫に気づき、それが行われている理由を理解することができる。	A お店にたくさんの工夫があることを理解し、その工夫が買う人の思いとつながっていることが理解できる。	B お店にたくさんの工夫があることが理解できる。	B 発表されたお店の工夫をまとめた用紙を渡し、見学の写真を見えながら工夫があったことを確認する。